

外科オープンステントを用いた胸部大動脈瘤の治療成績に関する研究

2021年から2023年までに胸部大動脈瘤の治療にオープンステントを使用した患者さん

研究協力をお願い

当科では「外科オープンステントを用いた胸部大動脈瘤の治療成績に関する研究」という研究を行います。この研究は、2021年1月1日から2023年10月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院心臓血管外科にて、胸部大動脈瘤のために外科オープンステントを用いた手術を行われた患者さんの術後の大動脈瘤再発ならびにステント留置に関わる合併症（エンドリーク）の有無を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：外科オープンステントを用いた胸部大動脈瘤の治療成績に関する研究

研究期間：2023年11月1日～2025年10月31日

研究責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 心臓血管外科 坂本俊一郎

(2) 研究の意義、目的について

当院では胸部大動脈瘤の手術時に大動脈瘤の人工血管の置換範囲を小さくするために外科オープンステントを使用してきました。本研究はこの外科オープンステントの治療成績について調べるものです。本研究内容についての報告はなく、有効性が明らかになることで胸部大動脈瘤治療を受ける際に外科オープンステントを使用する患者さんが増加し、手術後の症状や生命予後の改善をもたらすことが期待されます。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2021年1月1日から2023年10月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院心臓血管外科にて、胸部大動脈瘤手術において外科オープンステントを使用した患者さんの入院前、入院中および退院後のデータを調べます。また患者さんの大動脈瘤再発やステントに関わるエンドリークの有無について調べます。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学武蔵小杉病院 心臓血管外科 部長 坂本俊一郎

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-383

電話番号：044-733-5181（代表） 内線：3133

メールアドレス：saka-165@nms.ac.jp